

## 行政視察報告

( 会派 政進クラブ )

### <視察目的>

- ・ 山口県山口市、下関市

中海架橋を早期に実現するため「一度は行ってみたい橋」として有名な角島大橋を視察し、架橋の具体的なイメージや建設費用と維持管理等について見識を深めるため米子市議会有志とともに視察を行った。

### <視察概要一覧>

視察月日	視察先	視察施設	視察内容
11月20日	山口県山口市	山口県庁	・ 角島大橋橋梁整備事業について ① 橋梁整備事業 ② 完成後の維持管理
11月21日	山口県下関市	角島大橋	・ 角島大橋について ① 事業の概要 ② 補修工事 ③ 課題等

### <視察概要報告>

#### 1. 山口県山口市

- 対応者：山口県土木建築部 道路建設課主任 他二名
- 場 所：山口県庁
- 概 要： 山口県庁を訪れ、県の土木部関係職員からパワーポイントやペーパー資料を基に、角島大橋建設に至る背景や橋梁整備事業の概要等、事務・技術レベルでの議論の経過や建設後の課題について、事前に送付した質問事項を中心に意見交換を行った。

角島は下関市豊北町の沖合約1.5kmに位置する面積3.8km<sup>2</sup>、人口約700人の島で、架橋前までは本土とは1日7便の町営連絡船で結ばれていたが、冬場の波浪で欠航することも多く、医療・教育・消防を本土に頼らざるを得ないなど日常生活に支障が生じていた。

平成3年に補助事業として新規採択され平成12年11月に完成。過疎地域市町村代行事業として整備をされた。設計等を含む総建設費は149億円（内橋梁建設費は約132億円）、橋長は1,780m、有効幅員6.5m（歩道なし）、道路規格は第3種第4級。

環境と景観に配慮した結果、平成15年度土木学会「デザイン賞（優秀賞）」を受賞。ドラマ・CM等ロケ地としても採用されるようになる。上下部工ともにプレキャスト工法を多く採用。工事中には、県内最大規模の工事を一目見ようと延べ約8,000人が工事見学に訪れた。その後も観光客数が大幅に増加するなど幅広い好影響が続いている。

維持管理は、長寿命化修繕計画により施設に不具合が生じてから改修を行う「事後保全型」から、適切な時期に修繕を行うことにより施設の長寿命化を図る「予防保全型」へ転換。トータルコストの縮減や平準化を図っている。

## < 考 察 >

- （岩崎） 中海架橋の場合は、県境付近の恒常的な渋滞緩和や地域産業の活性化等を目的にしているが、角島大橋は離島に暮らす市民の生活そのものに支障が出ていることから早期建設が叫ばれてきた。目的は異なるが、新規補助事業に採択されるまでの要望活動、デザイン、建設費用、完成後の維持管理費用等、中海架橋建設に向けて住民・行政・政治の運動展開に大変参考となった。中でも、角島大橋建設に向けて当時の大臣に年賀状を送付し続けるなど、住民の想いを国へ届ける地道な活動に感心するとともに、我々も熱意が必要だと感じた。

## 2. 山口県下関市

- 対応者：山口県土木建築部 道路建設課主任 他三名
- 場 所：角島大橋
- 概 要： 下関市豊北町へ移動し角島大橋を前に、県担当者から説明を受けた。「一度は行ってみたい橋」として有名になったこともあり、観光客が押し寄せてゴミ問題が深刻化。海辺には花火やお菓子、ペットボトルなどのゴミが散乱しせっかくの美しい景観が台無しとなり、景観維持のため地元自治会が頻繁に清掃活動を実施し、敢えてゴミ箱を設置せず持ち帰りを促すなど観光客のモラルに訴える方法を導入している。

また、大型連休や休日には大規模な渋滞も発生。橋のみならず島内道路や本土側の市道にも車が入り込み地元住民の生活に大きな支障が出ている。最近では、インスタ映えを狙って車道の真ん中に立ち止まったり、寝転んだりして写真撮影するなど行き過ぎた行為も目立ち始め、地元では警察と連携しパトロールや声掛けを充実させ、安全な交通を取り戻そうとしているとのこと。

説明の後、バスに乗って実際に角島大橋を渡り、角島内の県道を灯台まで行った。

### <考 察>

○(岩崎) 昨日の説明のとおり環境と景観に配慮した素晴らしいデザインであった。北長門海岸国定公園第1種特別地域に指定されている鳩島を避けたことと、航路を確保するための橋脚部分(航路幅70m、航路高18m)が相まって絶妙なカーブが生まれ、日本海の波をイメージしているようにも見えた。

今まで私が描いていた中海架橋は、松江市八束町江島から境港市へ架かっている江島大橋のイメージだったが、航路を確保できれば残りの橋脚は高くする必要がないため建設費用も低く抑えることができ、景観への配慮もできることが、実物の角島大橋を見ることで、より具体的となり有意義な視察となった。

